

2017年度の年間活動報告

- ・賢材研究会への2017年度の活動は法人幹事としての活動支援が多く、特段の情報発信はありませんでした。
- ・ここ数年の賢材研究会への活動は、2016年11月にJA全農・技術センター往訪(弊社肥料事業関連)、2016年2月にフィルム栽培・佐藤農園往訪(弊社新事業関連)を起案しており、研究会を通じて農業分野への新たな展開について情報収集と意見交換の場をいただきました。
- ・引き続き、農業分野およびインフラ分野での環境保全に関わる研究開発と事業化に力を入れており、本研究会で検討と意見交換の機会をいただきたいと思います。
- ・環境保全に関する研究開発では、沖縄県・石垣島での降雨による農地の赤土が海洋に流出する問題への対策に、赤土流出防止資材「ファームコート」の開発と適用・事業化を進めており、事業化に向けた取り組みについて、新聞報道されました。(2018.03.21.八重山毎日新聞)
- ・そのほか、弊社樹脂加工・シート成形技術を生かした製品「耐候性蓄光ベースシート」を開発しており、屋外での安全、防災・減災、省エネ、空間表示デザインなどへの展開を進めています。裏面に参考資料を添付します。

# 赤土流出防止へ試験散布

## 市と4企業開発の水系資材

石垣市とデンカ(株)・東京都中央区など民間企業4社が協業して開発した土壌流出防止に有用な水系資材「ファームコート」の試験散布が20日、石垣市新川の松川秀誠さんの畑で行われた。

同資材はデンカ(株)が長年

蓄積してきた土木用土壌流出防止技術をベースに、同社が開発した農作物の生育促進に効果のある液状腐植酸(植物活性剤)の技術を応用したもの。深刻化している農地からの土壌流出対策に焦点を当てて開発された。



ブームスプレーヤーで試験散布される赤土流出防止材=20日午前、石垣市新川の松川秀誠さんの畑

キビが定植され、総面積6000平方メートルのうち南側の1800平方メートルで、同資材3600キロを散布。一般財団法人石垣市農業開発組合所有のブームスプレーヤーと呼ばれる機械を使用した。

デンカ(株)インフラ・ソーシャルソリューション部門アグリプロダクツ部開発課長の千葉進さんによると、昨年8月にも石垣市のほ場で試験散布を行ったが、人力によるもので、機械を使ったのは今回が初めて。千葉さんは「思ったよりもいい感じで散布できている。機械の速度やノズルの噴霧量をもう少し調整できれば適正量での散布も可能」と手応えを感じた様子。赤土流出防止について「農家だけに負担させるものでもないと考えている。市の力を借りながら、散布組織をつくるなど体制を整えることで貢献できると思う」と話した。

# 【屋外対応】 耐候性蓄光ベースシート

デンカ(株)独自のフッ素系樹脂(PVDF:ポリフッ化ビニリデン)のシート加工技術と蓄光材の精密分散・混練制御技術を組み合わせ、屋外環境下で長期間使用できる耐候性と蓄光性を両立させたシートです。

## 開発品の特長

- フッ素系樹脂(PVDF)の優れた特性(耐候性、防汚性、耐薬品性等)を活かし、従来素材では困難だった長期の耐久性を実現しました。
- 以下のJIS規格に準拠し、開発しています。  
JIS Z 9097 (津波避難誘導標識システム)  
JIS Z 9098 (災害種別避難誘導標識システム)
- 基材設計、表面制御により、シート表面へのデザイン印刷や二次加工が可能です。  
※印刷には耐候・耐水インクを推奨します。



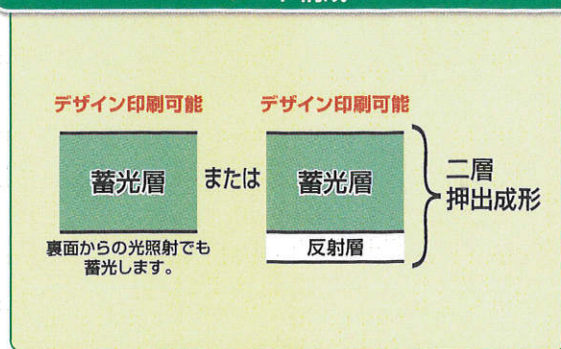
## 用途例

屋外環境下の様々な場所・用途で使用可能です。

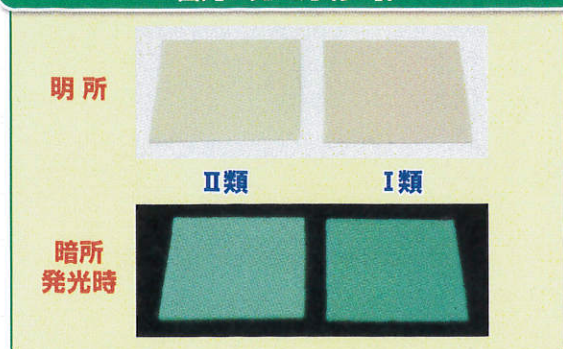
- ▶ 屋外用避難誘導標識、看板、照明補助材、住宅・建築物外装材(屋外階段・手すり・表札・床材等)、各種防災製品素材、車両外装材 など

※安全、防災・減災、省エネ、空間表示デザイン等における新素材として提案致します。

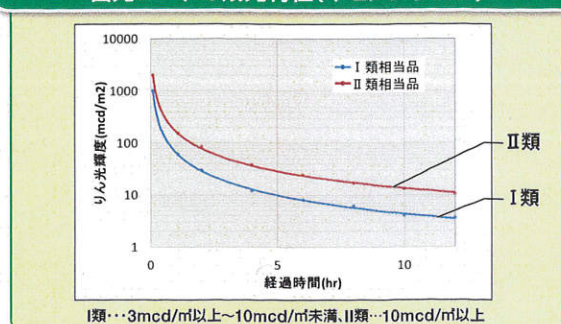
### シート構成



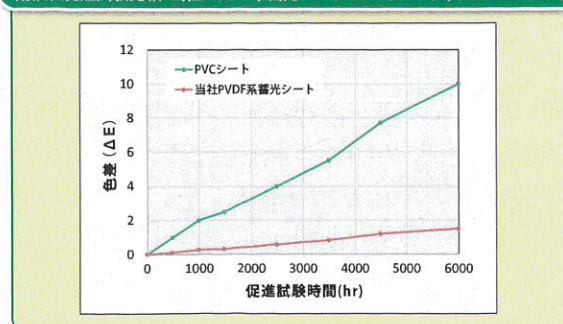
### 蓄光の見え方(参考)



### 蓄光シートの残光特性(キセノンランプ)



### 耐候性促進試験比較:当社PVDF系蓄光シートとPVCシート(キセノンランプ)



本書記載のデータ等記載内容は代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容について、いかなる保証をなすものではありません。